



NOUVELLE SONORITÉ



NOUVELLE SONORITÉ (代表：森広樹)

〒243-0036

神奈川県厚木市長谷 1287-8

TEL:090-9643-5680

FAX:046-(248)-6224

E-mail: info@nouvellesonorite.com

Web: nouvellesonorite.com

ABOUT



Nouvelle Sonorité

ヌーヴェル・ソノリテとは・・・

新しい (nouvelle) 響き (sonorité) を追求すべく設立された作曲家と演奏家からなる室内楽アンサンブル。音楽史を代表するクラシックの名曲のみならず、その歴史を引き継ぎ進化した近現代音楽、および新楽曲の初演を取り入れたプログラムに挑み、幅広いレパートリーの普及と発展を目的に活動している。

活動履歴

—自主公演—

■ 2014年12月28日

Cafe & Dining Cesta (池袋)

Nouvelle Sonorité 室内楽コンサートシリーズ vol.4

冬のティータイムコンサート

■ 2014年8月29日

ムジカーザ (代々木上原)

Nouvelle Sonorité 室内楽コンサート Vol.3

プシュケーの祈り

■ 2013年7月19日

めぐろパーシモンホール 小ホール (目黒)

Nouvelle Sonorité 室内楽コンサート Vol.2

デュオとトリオの夕べ

■ 2013年1月18日

ラ・リール (茗荷谷)

Nouvelle Sonorité

没後50年 プーランクの世界と新楽曲初演



トークを交えたコンサート風景 (2013/01/18)



リハーサル風景 (2014/08/29)

活動履歴

— 企画協力・依頼公演 —

- 2014年8月3日
厚木緑ヶ丘キリスト教会（厚木）
JACA 厚木緑ヶ丘教会主催
Afternoon Concert



教会でのチャリティーコンサート (2012/06/09)

- 2013年6月26日
東大和市民会館 ハミングホール（東大和）
東大和市民会館主催
ロビーコンサート
- 2012年6月9日
早稲田奉仕園 スコットホール（早稲田）
牧会塾主催
東日本大震災 チャリティープロジェクト第二弾 TALK&MUSIC

— その他の出演公演 —

- 2015年1月17日
帝国ホテル「富士の間」（千代田）
越谷市医師会主催
新年会ミニコンサート
- 2013年11月16日
アトリエムジカ（代々木）
世田谷区用賀ピアノ教室チャイム主催
子供のためのコンサート
- 2012年12月22~24日（厚木）
アマンダン・ヒルズ 披露宴会場
株式会社ノバレーゼ アマンダン・ヒルズ主催
クリスマスディナー コンサート

作曲・編曲・ピアノ



幼少よりピアノを始め、桐朋学園子供のための音楽教室にて和声学を大輪公彦氏、ピアノを河原奈美氏に師事。2001年渡米後、ウォールナット・ヒル芸術高校にて本格的に作曲を学ぶ。在学中に高く評価された楽曲が、同校制作のCDに収録され、米国にて初楽曲発表を行う。後に、イーストマン音楽院へ奨学生として進学、学士号を取得、またブランダイズ大学院にて修士号を取得。

これまでに作曲をクリス・マロイ、ロバート・モリス、デービット・リップタック、リカルド・ムルドゥーン、カルロス・サンクチェスの各氏に師事。ワシントン・ケネディセンター、ピーボディ・エセックス美術館、ニューイングランド音楽院・ジョーダンホール、またイギリスのセント・マーティン・イン・ザ・フィールズなど、ソロ、室内楽などの作品が世界各地で演奏される。

2010年に帰国後、作曲家、又編曲家として活動。また、伝統的なクラシックとその歴史を引き継ぐべく近現代音楽、新楽曲演奏を取り入れた室内楽アンサンブル「Nouvelle Sonorité」(ヌーヴェル・ソノリテ)をピアニスト・金子恵、ヴァイオリニスト・佐藤友香と結成、定期的なコンサート活動も行っている。YMCA 健康福祉専門学校非常勤、また昭和音大付属音楽教室にて講師を務める。演奏表現学会会員。

hirokimori.weebly.com

ピアノ



東京出身。3歳よりピアノを始める。東京都立芸術高等学校卒業後、奨学金給付生として渡米。イーストマン音楽院にて修士課程修了、シンシナティ大学音楽院にて学士課程終了。イーストマン音楽院にてルース・ワタナベ賞、セシル・ゲンハート賞を受賞。在学中より音楽院所属の公式伴奏員として研鑽を積み、学内外の多数のコンサートに出演。2005年バルセロナ夏期ピアノ・フォーラムに全額免除奨学生として参加、ダイアン・アンデルセン、菅野潤の各氏のマスタークラスにて発表。ソロコンサートにて好評を得る。

Schockett, McEloy, Reeves 奨学金コンクールにて第2位、スリーアーツ音楽コンクールにて第1位とタトゥム賞、ワイオミングスカラシップコンペティションにて第1位。これまでにピアノを須貝久子、大井和郎、バリー・スナイダー、ユージーン・プリドノフの各氏に師事。チェンバロをヴィヴィアン・モンゴメリーに師事、伴奏法・室内楽をケネス・グリフィス、ダナ・ロウリー、サンドラ・リヴァースの各氏に師事。2009年帰国後、ソロ、室内楽ともに精力的に演奏活動を行う。最近の活動では、2014年10月に開催されたすみだトリフォニーホールに於いてのソロリサイタル、墨田区における合唱団の伴奏、東日本大震災に於いての数々のチャリティーコンサートへの出演、東大和市ロビーコンサートへの出演などがあげられる。その他、主に弦楽器、管楽器とピアノのプログラムを中心とした複数の室内楽プロジェクトでの演奏を日本各地で行っている。また、伝統的なクラシックとその歴史を引き継ぐべく近現代音楽、新楽曲演奏を取り入れた室内楽アンサンブル「Nouvelle Sonorité」(ヌーヴェル・ソノリテ)を作曲家・森広樹、ヴァイオリニスト・佐藤友香と結成、定期的なコンサート活動を行っている。日本シューマン協会会員、演奏表現学会会員、PTNA(全日本ピアノ指導者協会)正会員。

megumikanekopiano.com

ヴァイオリン



名古屋出身。4歳よりヴァイオリンを始める。第4回日本クラシック音楽コンクール小学生の部奨励賞受賞。第51回全日本学生音楽コンクール小学生の部名古屋大会第1位、第52回同コンクール中学生の部第1位。第11回大阪国際音楽コンクール Age G 部門第3位。第4回横浜国際音楽コンクールデュオ部門1位なしの第2位。

2000年より、アメリカのボストンにあるウォールナットヒル芸術高校に奨学生として単身留学。2004年同校卒業後、ニューイングランド音楽院入学。翌年より休学し、兵庫芸術文化センター管弦楽団に最年少コアメンバーとして入団。同団第1回ソリストコンクールで優勝。2007年5月に同団とストラビンスキーヴァイオリン協奏曲を協演。2007年9月よりニューイングランド音楽院復学。2010年5月に卒業。在学中、野村国際文化財団より留学助成金を受領。

(財) 地域創造の音活フォーラムに弦楽四重奏一員として参加。2011年ナンシーゼルトマンマリンバフェスティバル (Appleton, WI) にゲストアーティスト、ゲストスピーカーとして招聘。また、新曲の開拓にも意欲的でウェイチェ・リンのヴァイオリン独奏のための「ウィーブ」をニューヨークのカーネギーホールで演奏する他、第2次世界大戦にてナチスの犠牲者となったマーセル・ティバーグの弦楽六重奏を初演。その演奏はBuffalo News紙に「厳粛で引き付ける演奏」と称賛される。

これまでにヴァイオリンを森下陽子、渡邊穰、森悠子、故マリルー・チャーチル、ジェームス・バズウェル、ヴェラ・ベスの各氏に師事。2014年にオランダのハーグ王立音楽院の修士課程を満点の首席で卒業。現在ノルウェーのクリスチャンサン交響楽団の契約団員。